

## Zoom オンライン

### 全国大学人権教育交流会

第 57 回 企画

#### 《研究会のご案内》

### テーマ

## 人権教育の視点から取り組む「デス・エデュケーション」 (死への準備教育)は、どんな教育効果をもたらすか

「デス・エデュケーション(死への準備教育)」は、「死」を正面から見つめることで、命の尊さに気づき、限りある「生」をより良く生きることを目指そうというもので、日本では故アルフォンス・デーケン氏(上智大学元名誉教授)によって提唱されました。

現代社会において、死はタブー視されています。

多くの親や教師たちも、死をタブー視し、自分なりの死生観を持たないままです。

その結果、家族や友人の死に直面した生徒たちの多くは、誰から何の示唆も得られないまま、悲嘆と混乱の渦に放り込まれてしまうのが現状です。

今回の学習会では、人権教育の視点から死を正面から取り上げた、高校での教育実践の報告を受けます。

そして、国内外のデス・エデュケーションの実情の紹介のあと、参加者で自由に討論をおこないと思います。

「命を大切にしましょう」という徳目主義的道德教育からのアプローチではなく、人権教育の視点からおこなわれるデス・エデュケーションは、生徒たちにどんな教育効果をもたらすのでしょうか。

ぜひ、ご参加お願い申し上げます。

○ 開催日:2022年3月26日(土)14時00分~16時30分(入室は15分前から可能です)

○ 参加費:無料(申込み必要)

#### 【第 I 部】 (14:00~15:10)

報告 高校での教育実践 〈大阪府立高校教員 小川隆史 さん〉

- ・ 余命を宣告された人や大切な人の死に直面した人たちの生き方を追う。
- ・ 余命宣告された人の心の内を想像する。
- ・ 親しい人を亡くした心の痛みは、どうやって癒やされていくのか。  
…悲嘆のプロセスや亡くなった人と残された者の関係について考える。

#### 【第 II 部】 (15:20~16:30)

質疑応答と意見交流

## 報告者のプロフィール

<小川隆史(おがわ・たかし)さん>

1958 年生まれ、1984 年より、新設校において生徒組織、部落解放研の顧問を務めながら、府立高校人権教育の草創期を担う。以来、人権教育・キャリア教育の実践を重ねるとともに、人権サークルでの生徒の育ちをサポートしてきた。大阪府立学校人権教育研究会(府立人研)や大阪府教育センターにおいて、他校の教員とともに人権教育・キャリア教育の教材開発にも携わってきた。近年は、LGBTQ 生徒支援のテーマで、中学・高校の校内研修、府教員センターの研究フォーラム、大阪府の人権啓発担当者研修、大学での特別講義などで話をする事が多い。著書に「やってみよう!総合学習」(共著、解放出版社、2002 年)、など。現在、大阪府立柴島高校教諭。

今回も ZOOM オンラインでの研究会となります。なお、後日 YouTube にて一定期間配信の予定です。

○ 参加ご希望の方は、< g\_jinken@yahoo.co.jp > 宛にメールで                   もしくは 下の QR コードから

(1)件名:3 月 26 日研究会参加希望

(2)メールアドレス

(3)氏名

(4)所属団体等(あれば)

(5)「当日参加希望」もしくは「後日の配信希望」もしくは「両方とも希望」を  
ご記入の上、お申し込みください。



○ 申込み締切りは、3 月 24 日。

○ 前日(25 日)までに、Zoom ミーティング ID、パスコードをお知らせいたします。

○ 後日の配信についても、準備が整いしだいご連絡いたします。またホームページ上でも告知させていただきます。

Mail アドレス           g\_jinken@yahoo.co.jp

全国大学人権教育交流会のホームページもご覧下さい。  
<http://zdaigakujinkenkyoikukoryukai.web.fc2.com/>